

テイコプラニン		7391000		
		担当部署		
テイコプラニン		生化		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダー手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→薬物→		
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		特記事項なし		
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング		トラフ、ピークなどの指示がある場合は、指示通り		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8 mL
2	-	-	-	-
3	-	-	-	-
4	-	-	-	-
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体		
保管検体の保存期間		冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)		
検査結果・報告				

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中～翌日				
生物学的基準範囲		設定なし				
臨床判断値		15-30 μ g/mL ナピア TDM テイコプラニン 添付文書				
基準値					単位	μ g/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
15	30	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>テイコプラニンは新しく開発されたグリコペチド系抗生剤である。</p> <p>Actiplanes teicomycetius から分離された発酵抽出物でありバンコマイシンとともに MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)をはじめとするグラム陽性菌に優れた抗菌力を発揮する。</p> <p>グリコペチド系抗生剤は腸管で吸収されない為、注射薬として使用され、約 50 時間の半減期を持って血中を推移する。</p> <p>有効治療濃度は確立していないが、MRSA 感染症を対象として trough 濃度で 5～10μg/mL が推奨されている。</p> <p>三菱化学メディエンス 検査項目解説 改訂第 4 版 208</p>				